



北上市立和賀西小学校校報

わがにし

学校教育目標「たくましくはばたく子」
かしこく・やさしく・たくましく

R7. 5. 19

第 4 号

文責：校長（大鷹）

和賀西福祉調査隊

五年 総合的な学習

五年生は現在、総合的な学習「和賀西福祉調査隊」に取り組み、地域や身の回りの高齢者福祉の様子について学んでいます。

四月十八日（金）の授業では、高齢者疑似体験学習を行いました。ゴーグル・ヘッドホン・肘や膝へのサポーター・おもりなどを身に付けて廊下や階段を歩くことで、高齢者の見えにくさ・聞きにくさ・動きにくさを体験しま



した。ペアで行いましたが、動きにくさゆえの怖さを感じ、日々の大変さが分かったようでした。

五月二日（金）は「横川目グループホーム・長寿園」さんを訪問し、施設を利用している方々と交流してきました。健康に過ごすためになど、どのようなことを行っているか、どのような食事をとっているかなど、施設での過ごし方の話を聞いてきました。

今月末には、認知症講座での学習も予定しています。これから展開していく学習を通して、この地域の高齢者福祉について、さらに探求していく予定です。



みんなで深めよう 縦の絆

四月三十日（水）の三校時、今年度最初の縦割班活動を行いました。今回は新しいメンバーでの初顔合わせでした。

会の最初に執行委員長が、「この縦割班活動

は、学年の枠を超えて、お互いの仲を深める活動です。一年間で、笑顔がたくさん増えたいと思います。」と、活動の目標をしっかりと話しました。その後の班活動では、六年生がリーダーシップを取り、一年間の目当てや約束を話し合ったり、絆の木に掲示する一人一人の手形を作ったりしました。

今後は、プランターの花の世話や班遊び、集会などの活動を通して交流を行います。執行委員長の話のように、交流の中で互いの絆を深めていけるよう見守っていきます。



防犯教室開催

五月九日(金)の三校時、北上警察署生活安全課少年補導職員・岩瀬奈津枝さんを講師にお招きし、防犯教室を行いました。

今回は、「知らない人」に後をつけられた時、捕まりそうになった時、道を聞かれた時などにどのような行動を取ればよいかを学びました。

まずは映像を見ながら、いろいろな危ない状況の中で、なるべく危険を避け自分の身を守るための方法を考えました。クイズ形式の進行に子供たちは楽しみながらも、どう行動すればよいのかを真剣に考えていました。

また、今回は、危害を加えられそうになったときに、「助けてえー」と声を出して走って逃げる練習を全員が行いました。子供たちからは、「実際にやってみて、思ったように声が出ないことが分かった。」と感想が述べられましたが、突然のことには思ったように体が動かないということが分かっただけでも、よい体験となりました。

危険から身を守るためには、悪い大人の特徴を表す「は・ち・み・つ・じ・ま・ん」を頭に入れながら、普段から①「なるべく人がいる所を通る」②「少しでも怪しいと思ったら逃げる」ことが大事だと確認をしました。

備えあれば憂いなし、できることに取り組

みながら、自分の命は自分で守っていきけるように心がけていきます。



あいさつで 健やかな子を

今年度も、北上市防犯協会和賀支部の菊池様と八重樫様が校門付近に立ち、朝の「あいさつ運動」を行い、子供たちを元気づけてくださっています。

お二人がいらっしやるのは、毎週第四金曜日の朝です。晴れの日も雨の日も、暑い日も

寒い日も立って声掛けし、子供たちが健全に成長するのを後押ししてくださいます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



スクールガードリーダーさん

昨年に引き続き、今年度も本校児童の安全な下校を、スクールガードリーダーの品川剛(しながわ つよし)さんが支えてくださいます。年間に一五回ほど、児童の下校時刻に合わせて地域を巡回してください。歩行に関して危険な様子は少なくなっているとのことでしたが、昨今はクマ・サル・イノシシの出没が相次ぎ、そちらの方も気にかけているとのことでした。



七月にはスクールガードリーダー養成講座が予定されていますので、どうぞご参加ください。

